

科目名称	人体の構造と機能Ⅱ(人体の概観・運動)	学年学期	単位数	時間数
		第1学年前期	1	30
担当教員	宮脇 恭史	授業に関わる実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (衛生検査技師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】授業概要

人体の概観と運動機能に関する骨の構造、骨形成、骨格系、筋組織、代謝について学ぶ。

【2】学習目標

1. 皮膚および運動器について、解剖学的・組織学的な特徴を説明できる。
2. 皮膚における感覚の受容・伝達の仕組みを説明できる。
3. 主な骨と関節について、その構造を説明できる。
4. 骨形成の仕組みと骨折治癒の仕組みを説明できる。
5. 主な筋について、起始と停止、支配神経を列挙できる。
6. 筋が収縮する仕組みを説明できる。
7. 運動器障害の病態について説明できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	皮膚の組織学的構造	講義
2	感覚の受容と伝達	講義
3	骨と関節の肉眼解剖学	講義
4	骨の組織学・細胞学と骨代謝	講義
5	主な骨(頭蓋骨、縫合と泉門)	講義
6	主な骨(体幹の骨、胸郭、自由上肢)	講義
7	主な骨と関節(骨盤、自由下肢)	講義
8	筋の解剖学と組織学	講義
9	筋が収縮する仕組み	講義
10	主な筋(頭部の筋と脳神経)	講義
11	主な筋(体幹の筋と呼吸)	講義
12	主な筋(上肢の筋と腕の運動)	恋愛
13	主な筋(下肢の筋と腱反射)	講義
14	主な運動器の障害	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験、学習への取り組みで総合的に評価を行う

【6】教科書

坂井 建雄:系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学(第12版) 医学書院 2026(電子版)

【7】参考書

授業中に配布する資料

【8】受講生へのメッセージ

人体の概観を構成する骨の構造、骨形成、骨格系、筋組織と骨代謝の関連について一緒に学びましょう。